

HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 v 1.20 リリース ノート

HP 部品番号: 616296-193
2011 年 4 月
第 1 版



ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。HP 製品に対する保証については、当該製品の保証規定書に記載されています。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューター ソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HP から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューター ソフトウェア、コンピューター ソフトウェア ドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Windows NT、Windows XP および Windows 7 は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。Intel およびインテルはインテル コーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。Java は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

リビジョン履歴

製品番号	サポートされるバージョン	改版番号	改版日
616296-191	バージョン 1.00	1	2010 年 3 月
616296-192	バージョン 1.05	2	2010 年 6 月
616296-193	バージョン 1.20	1	2011 年 4 月

HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 v 1.20 の概要

HP iLO 3 を使用すると、サーバーをリモートで設定、更新、および操作することができます。ブラウザベースのインターフェイスまたは RBSU で iLO3 を設定できます。詳しくは、『HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 v 1.20 ユーザー ガイド』を参照してください。多数のツールおよび構文が iLO 3 をサポートします。詳しくは、『HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 v 1.20 スクリプティング/コマンド ライン ガイド』を参照してください。iLO 3 の一部の機能はライセンスが必要な機能であるため、オプションのライセンスを購入しないと使用できません。詳しくは、HP の Web サイト <http://www.hp.com/go/ilo3>（英語）を参照してください。

このリリースの新機能

今回リリースされた iLO 3 ファームウェアは、バージョン 1.20 です。

新機能

iLO 3 バージョン 1.20 の新機能は、以下のとおりです。

- **Kerberos サポート**
Kerberos は、秘密鍵暗号方式によって強力な認証を実現するネットワーク認証プロトコルです。Kerberos は、iLO 3 の Two-Factor 認証セキュリティを提供します。
- **機能拡張された LOMIG ユーティリティ**
LOMIG ユーティリティは、iLO 3 環境で Kerberos を設定するために機能拡張された Windows ベースの移行設定ツールです。
- **言語パック**
英語とユーザーが希望する言語との間で iLO 3 GUI の表示言語を容易に切り替えることができるように、言語パックが提供されています。
iLO 3 v1.20 のリリース時には、最初の言語パックとして日本語の言語パックが用意されました。今後のリリースで他の言語も追加される予定です。
- **One Voice ユーザー インターフェイス準拠**
HP One Voice UI により、ユーザーにとっての UI のルック & フィールが向上すると同時に、一貫性と利便性を実現しています。
- **Windows カーネル デバッガー**
Windows カーネル デバッガー (windbg) を iLO3 仮想シリアル ポート経由で使用して、問題の発生時に容易にデバッグできます。

廃止された機能

- Telnet インターフェイス（複数の SSH セッションを使用できます）
- ターミナル サービス パススルー（iLO 3 の統合リモート コンソールのパフォーマンスと一連の機能によりこのサービスが不要になります）
- リモート シリアル コンソール用のアプレット（リモート シリアル コンソールは引き続き SSH を通じて使用できます）
- 仮想メディア用のスタンドアロン アプレット（仮想メディア機能は、Java 統合リモート コンソールおよび Windows 統合リモート コンソールに加えて、[仮想メディア] ページに組み込まれています）
- リモート コンソール ホット キー（統合リモート コンソール アプリケーションは実際のキーボードのような機能をサポートします）

- c-Class BladeSystem ウィザード (BladeSystem Onboard Administrator によって BladeSystem ウィザードのサポートが提供されます)

インストールおよびアップグレードに関する注意事項

iLO 3 v 1.20 のインストールとアップグレードに関する注意事項は、以下のとおりです。

インストールに関する注意事項

以下のいずれかのオプションを使用してファームウェアをインストールしてください。

- 更新するホスト システム上でコンポーネントを実行します。
コンポーネントは、iLO 3 ファームウェアを更新し、iLO 3 プロセッサをリセットします。
- コンポーネントからファームウェアを抽出します。
コンポーネントは、ファームウェアイメージファイルの iLO 3_yyy.bin (yyy はファームウェアのバージョンを表す) をターゲット ディレクトリに保存します。
ファームウェアが抽出されたら、以下のいずれかの方法を実行できます。
 - iLO 3 にログインし、[Update Firmware] ページに移動して、このページからファームウェアを更新します。
 - HP Lights-Out 設定ユーティリティ (CPQLOCFG) と RIBCL/XML スクリプトを使用して、ネットワーク経由で iLO 3 を更新します。
 - HP Online Lights-Out Configuration ユーティリティ (HPONCFG) と RIBCL/XML スクリプトを使用して、サポートされるホスト OS から iLO 3 を更新します。
 - Directory Migration Utility (英語) を使用します。このユーティリティは、HP Directories support for Management Processors (英語) に含まれており、HP の Web サイト <http://www.hp.com/jp> にある iLO 3 ダウンロード ページの [ソフトウェアおよびドライバ] から入手できます。
この Windows ユーティリティは、Lights-Out プロセッサのネットワーク検出、インポート/エクスポート機能、および大量のファームウェア更新をサポートしており、ディレクトリの移行は不要です。

アップグレードに関する注意事項

(オプション) - 資料に示されているいずれかの問題修正がシステムに関係している場合、またはこのバージョンによって提供される拡張機能を使用する場合は、このバージョンに更新してください。このファームウェアは、iLO 3 専用です。このファームウェアは、iLO 2 や第 1 世代の iLO とは互換性がありません。

サポートと他のリソース

『HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 v 1.20 ユーザー ガイド』および『HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 v 1.20 スクリプティング/コマンドラインガイド』は、HP の Web サイト <http://www.hp.com/jp/servers/ilo> にあります。[マニュアル] を選択し、リストから最新バージョンのマニュアルを選択してください。

機能の使用方法について詳しくは、オンライン ヘルプを参照してください。ブラウザー Web ページからオンラインヘルプにアクセスするには、各ページの右上隅にあるクエスチョンマークをクリックしてください。